

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)

2023年度

研究開発実施報告書

SIP 課題名「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現する
プラットフォームの構築」

研究開発テーマ名「デジタル・シティズンシップ・シティ：
公共的対話のための学校」

研究開発期間： 2023年10月1日 ～ 2024年3月31日

| | | |
|---------|------|-------------|
| 研究開発責任者 | 氏名 | 草原 和博 |
| | 所属機関 | 国立大学法人 広島大学 |
| | 部署 | 人間社会科学研究科 |
| | 役職 | 教授 |

研究開発成果等の概要

「(別紙) 研究開発成果等の概要」を参照。

- 実績(1)に示すように、全ての目標値を達成することができた。視察・研修を多数受け入れることができたのは、社会的インパクトの創出と広域展開につながる成果である。
- 実績(2)に示すように、計14回の実証授業を実施できた。主には東広島市内の学校をつないで、一部は北海道や鹿児島県の学校をつないで、遠隔多拠点型の合同授業を実施できた。
- 実績(3)に示すように、公共的対話の意義を実感したという子どもの声が寄せられた。またそのことが、メディア等で広く市民に発信された。
- 実績(4)に示すように、遠隔・オンラインとリアルを組み合わせたDXの取組、及び大学院生支援者の取組を評価していただいた。海外にベンチマークを設定し、強みや課題を明確化できた。
- 実績(5)に示すように、2024年度の実証授業の計画を策定できた。対象を社会科から総合的な学習の時間へ拡張するとともに、小学校3年から中学校3年まで一貫して実施する予定である。

2023年度(初年度)の実績(1)ー基礎データをもとにー

| 所掌ユニット | 指標 | SIP目標値 (2023.10-2024.3) | SIP事業実績 (2023.10-2024.3) | 年度実績 (2023.4-2024.3) | 所掌ユニット | 指標 | SIP目標値 (2023.10-2024.3) | SIP事業実績 (2023.10-2024.3) | 年度実績 (2023.4-2024.3) |
|--------------|-----------------|----------------------------|-----------------------------|-------------------------|---------------------|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 管理・運営 | SIP連絡協議会 | 1回 | 1回 | 1回 | 制度・意識 開発 | 参加児童生徒数(延べ) | 1000人 | 1,886人 | 3,447人 |
| | SIP運営会議 | — | 6回 | 6回 | | 東広島市 | 1,818人 | 3,314人 | |
| | シンポジウム | 1回 | 1回 | 1回 | | 市外 | 68人 | 133人 | |
| | シンポジウム参加者数 | — | 60名 | 60名 | | 参加校数(延べ) | 38校 | 71校 | |
| | 他自治体の参加者数 | 2自治体 | 2自治体 | 2自治体 | | 東広島市 | 25校 | 36校(69学級) | 64校(119学級) |
| | 論文発表 | — | 2回 | 2回 | | 市外 | 2校(2自治体) | 2校(3自治体) | 7校(6自治体) |
| | 学会等発表 | 1回 | 4回 | 4回 | | 東広島市の参加率 | 30% | 62.5% | 81.3% |
| | プレス報道 | — | 6回 | 15回 | | 市民等の参加数(延べ) | 10人 | 30人 | 40人 |
| | ホームページPV | 1,000 | 3,457 | 5,091 | | 就労者の授業登録 | 3回(3人) | 7回 | 12回 |
| | 開発単元数(実証回数) | 5回 | 7回 | 12回 | | 行政 | 3人 | 5人 | |
| カリキュラム 開発 | 小学校 | — | 7回 | 10回 | 企業 | 15人 | 14人 | | |
| | 中学校 | — | — | 2回 | 学術・研究 | 6人 | 7人 | | |
| | 総合 | — | — | — | 自営・兼職 | 6人 | 8人 | | |
| | 児童生徒の評価 | — | — | — | 学生支援者数 | 140人 | 223人 | | |
| | 授業満足度 | — | 80.5% | 79.8% | SSRを含む不登校児童生徒数 | — | — | | |
| | 他校の子どもの対話に意義 | — | 71.9% | 71.9% | 他自治体からの視察・研修受入 | — | 22人 | 22人 | |
| | 地域のおとなの対話に意義 | 50% | 87.6% | 86.1% | AI学習支援プログラム 試行回数 | 2 | 5 | 5 | |
| | 公共的課題の解決意欲(5件法) | — | 4.0 | 4.0 | 実装機能 | デモ機は、対話が認識できる。意見分布の傾向を表示できる。 | デモ機は、対話が認識できる。対話をテキスト化し、校正、要約できる。 | | |
| | 教師の評価 | — | — | — | | | | | |
| | 子どもの学習意欲を認知 | — | 98.3% | 98.8% | | | | | |
| DCCの理念に共感 | 50% | 97.4% | 97.4% | | | | | | |
| 継続参加率 | — | 10.9% | 34.1% | | | | | | |

2023年度(初年度)の実績(2) - 実証授業を中心に -

| 2023年度 | 教科・領域 | 学年 | 授業テーマ(学年) | 公共的課題 | 参加者数(左:東広島市, 右:市外) |
|--------|--------|--------|-----------|--|-------------------------|
| 1 | 5月17日 | 社会科 | 小5 | 3つの場所に注目! 「とれる作物」「つくる時期」が違うのはなぜだろう? | 農業振興 507 55(北海道, 鹿児島県) |
| 2 | 5月24日 | 社会科 | 中1 | お礼, 教室, G7サミットを, 地理的・歴史的見方・考え方で捉えなおそう! | — 99 |
| 3 | 6月14日 | 社会科 | 小3 | お買い物でこまっている人たちに役立つお店を提案しよう! | 買い物弱者 197 |
| 4 | 7月4日 | 社会科 | 中3 | 橋の浦と酒蔵通り, 道路建設をめぐる議論を, 現代社会の見方・考え方で捉えよう! | — 99 |
| 5 | 7月11日 | 社会科 | 小5 | 安芸津の強みを生かして, 漁業「わか返り作戦」を提案しよう! | 水産業振興 165 |
| 6 | 9月13日 | 社会科 | 小3 | 防災訓練だけで私たちのくらしを守るのか? 命は守れるのか? | 災害・防災 514 10(北海道, 鹿児島県) |
| 7 | 10月20日 | 社会科 | 小5 | 海からはなれた東広島市に自動車工場はできるだろうか? | 産業立地 566 |
| 8 | 11月15日 | 社会科 | 小4 | 中の峠隧道の記念碑を作ろう! 沖田嘉市「が」えらいのか, 沖田嘉市「も」えらいのか? | 記憶継承 441 |
| 9 | 12月13日 | 社会科 | 小5 | プレスネットとインターネット, メディアの情報は本当に無料か? 広告はある? 要らない? | メディア 104 35(北海道) |
| 10 | 1月24日 | 社会科 | 小3 | 広島大学は, 東広島市の変化とどんな関係があるか? | 地域開発 398 |
| 11 | 2月21日 | 社会科 | 小4 | 東広島市を外国人市民にとってくらしやすいまちにするには? | 共生・人権 314 17(鹿児島県) |
| 12 | 2月27日 | 社会科 | 小6 | 韓国を理解するための問いを作り, 韓国の子どもと話し合おう! | 相互理解 46 5(韓国) |
| 13 | 3月16日 | 広島空港連携 | | 広島空港はどんな「空」の「港」なの? もっと無人化を進めるべき? | 労働 0 24(広島市, 福山市等) |

※1:3月16日は, 広島国際空港株式会社と連携して実施した「学びの拠点プロジェクト」の取組。ハイフレックス開催で24名(小学生12名, 保護者等12名)参加。



学校生活等の国際比較に
応答するパートナー
(韓国の小学生)



タウン誌の広告探しに
取り組む共同学習者
(北海道・札幌市)



記念碑をめぐる議論を
解説する専門家
(北海道・釧路市)



ホスト校で全体進行する
大学教員
(東広島市・T1)



各教室で指導する
担任教師
(東広島市・T2)



運営・学習を支援する
大学生・大学院生
(東広島市・T3)

2023年度(初年度)の実績(3) - プレス報道・広報等から -



●2023年11月22日 東広島市広報紙『広報東広島』p.4
「重点施策5 時代を担う子どもを育てる教育・保育の推進」
「他の学校と一緒に授業を受けました。みんなから
いろいろな発表や意見が出て楽しい授業でした」
(板城西小5年〇〇さん)

●2023年10月24日 中国新聞朝刊 20面
「広島大、新「公教育」開発 東広島市と連携 デジタルを活用」
「教室で大人の話を聞けたり, 校外の同級生と話し合っ
たりするのは楽しい」(高美が丘小5年〇〇さん)

●2023年9月19日 東広島市教育委員会指導課情報教育推進室「GIGAっつ」
No.22「防災について「つながって」考える」
「広島県のことが普通じゃなくて, 違う見方や考え方があるんだと思いました」(高屋東小4年〇〇さん)

●2023年2月22日 NHK広島「お好みワイド」ニュース
「外国人が暮らしやすい東広島」オンライン授業で考える
「ほかの学校の意見も聞けて新しい思考が生まれました」(三永小4年〇〇さん)

2023年度(初年度)の実績(4) - 特記すべき事項 -

第3期東広島市教育振興基本計画 (令和6年度～令和10年度)への位置づけ

14 小中一貫・小規模校の教育の充実 【指導課, 学習課】
義務教育9年間の学びの質を高めるため, 45TEAM教育[※], アントレナレーション教育[※]などを
はじめとする小中一貫教育[※]の取組を一層推進します。
小規模校において, 地域資源を活用した探究的学びや単元内自由学習[※]による個別対
話型学習[※]「CTによる遠隔授業」[※]長年交流した他校の協力的な学びなど, 特色ある教育実践を充
実に実施します。また, 子供たちに最適な教育機会を提供するために, 遠学区域制度の革
新的運用を行い, 指導体制, 受入れ体制の整備を行い, 選ばれる学校づくりを進めます。

28 地域の学びのDXの推進 【生涯学習課, スポーツ振興課, 文化課, 生涯課】
地域や, 大学, 試験研究機関等と連携, 協働して, 学びにとって不可欠なリアルな体験活動の機
会を充実させつつ「遠隔」オンラインリアルを組み合わせるDXの取組[※]により効果的な社会教育・
学校教育活動を進めます。また, 教育施設におけるデジタル基盤の強化を促進し, 高齢者を含め,
全ての人が, 地域において, 世代を超えて互いに交流しあう, 地域や暮らし, 各々の生きがい
を共に創り, 高め合う地域共生社会の実現に向けた取組を推進します。

『広報東広島』 令和5年12月, 令和6年2月の記事掲載



これらの社会で役立つ /
対話を通してよりよい
社会を提言できる力育む
社会の課題を自分事として捉え対話を通じて, 思い
がけない気づきに出会えます。その際に出
てきた, 自分自身の考えを語り, 互いに理解し, 意
見を交換しあうのが, この社会で生きていく上で
大切なスキルです。ICTを活用し, 対話とオンライン
で地域, 世界の人とつながり, 多様な考え方に触れ,
対話を通して経験が子どもたちを成長させます。

広島大学人間社会科学部研究科 「地域連携パネル展示」最優秀賞



<発表タイトル>
東広島市「広域交流型オンライン学習」の取り組みと
成果—大学院生・学部生による運営支援に注目して—
<発表者>
吉田純太郎, 西角建平, 田中峻斗, 川本吉太郎

教育専門紙『北海道通信』での 取組紹介(2024年1月9日)



ベンチマーク調査(米国・コロンビア大学) The Civically Engaged Districts Project



ニュージャージー州12学区の取組と, 経験者との交流やロールプレイを交えた教員研修の調査

2023年度(初年度)の実績(5) - 2024年度の方針決定 -

| 2024年度 | 教科・領域 | 学年 | 授業テーマ(学年) | 公共的課題 | 参加者数(左: 東広島市, 右: 市外) | |
|--|--------|------|-----------|--|----------------------|---|
| 1 | 5月15日 | 社会科 | 小5 | 【国土の気候と地形の特色】土地でできる作物を決めるのは、自然の力?人間の力? | 農業振興 | 2024年度の研究開発 ●社会科だけでなく、総合的な学習の時間でも実施 ●小学校3年生から中学校3年生まで一貫して実施 ●社会科では、デジタル化社会に固有の論争的な問題を取り上げる ●総合的な学習の時間では、外国につながる子どもとの対話に焦点を当てる ●夏休みには、地域社会の課題を主体的に見出し、探究する特別プロジェクトを実施 |
| 2 | 5月22日 | 社会科 | 中1 | 【地理的見方・考え方】地理を学ぶと、どんないいことあるのか? | - | |
| 3 | 6月12日 | 社会科 | 小3 | 【私たちの町と市】私たちの町のおきのおきの写真をとって発表しよう! | 地域表象 | |
| 4 | 6月19日 | 総合 | | 【ことばと字綴づくり】やさしい日本語の「やさしさ」とは? | ことば・共生 | |
| 5 | 7月3日 | 社会科 | 小6 | 【国づくりへの歩み】大きなお慕。この価値を語りつくし案内板をつくろう! | 記憶継承 | |
| 6 | 7月10日 | 社会科 | 中2 | 【歴史の見方・考え方】歴史を学ぶと、どんないいことあるのか? | - | |
| 7 | 夏休み | 自由研究 | | 地域課題探究プロジェクト | | |
| 8 | 9月11日 | 社会科 | 小4 | 【自然災害からくらしを守る】私たちは防災訓練だけで命を守れるか? | 災害・防災 | |
| 9 | 10月23日 | 社会科 | 中3 | 【個人の尊重と日本国憲法】インターネット情報は消すことができるか? | デジタル | |
| 10 | 11月20日 | 総合 | | 【ことばとグローバル化】外国語を上手に使いこなすってどういうこと? | ことば・共生 | |
| 11 | 12月11日 | 社会科 | 小3 | 【事故や事件からまちを守る】新しく交番が駐在所をおくならば、どこ? | 安全・治安 | |
| 12 | 1月15日 | 社会科 | 小6 | 【日本とつながりの深い国々】外国をよりよく知るには、どうしたらよいか? | 相互理解 | |
| 13 | 1月29日 | 総合 | | 【ことばとコミュニティ】外国語の案内板、どの言葉ののせる? どれだけのせる? | ことば・共生 | |
| 14 | 2月12日 | 社会科 | 小4 | 【国際交流に取り組むまち】私たちの町は外国人市民にくらしやすいか? | 共生・人権 | |
| 15 | 2月27日 | 社会科 | 小5 | 【環境をともに守る】各地の公害の歴史を交流しよう! 公害はもう解決したか? | 環境 | |
| ※1: 保護者への情報提供、年度初めに年間計画一覧表の配布、授業1週間前に参加校の保護者に参観を促すチラシの配布。 | | | | | | |
| ※2: 不登校児童生徒への参加、教員向け授業案内にSSRの児童生徒の参加可と記載、参加希望エクセルに回答欄を設定。 | | | | | | |
| ※3: 授業後の振り返り、授業日の16:00-16:20にオンライン開催。任意参加。参加者は事後アンケートの回答を免除。 | | | | | | |
| ※4: SIP連絡協議会の開催。9月と3月の第2週を別途開催。 | | | | | | |

- ① 東広島市の教室と全国の教室をつないで展開
- ② 各地の拠点づくりを支援—とくに北海道を中心に
- ③ 不登校児童生徒の参加、保護者の参観を働きかける

